

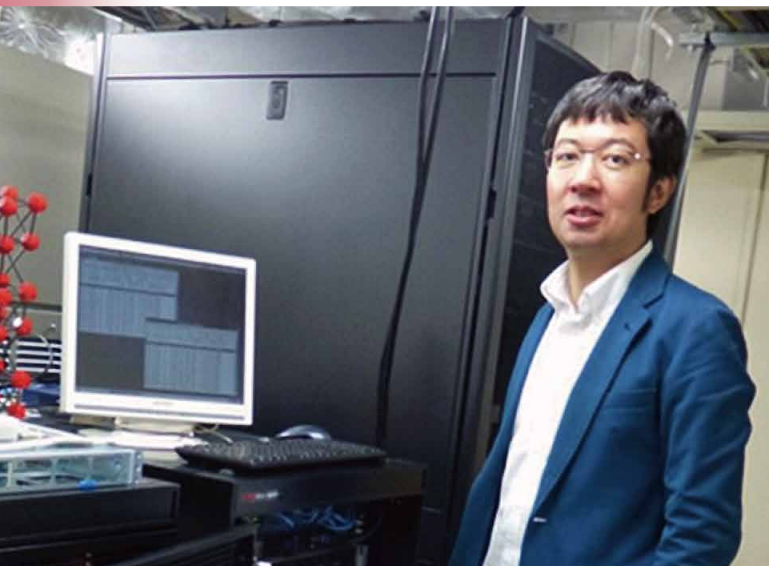
# スパコン プロフェッショナル

Series Supercomputer Professionals

## No.07

### 金属材料の凝固・組織形成に係る分子動力学

実用金属材料の多くは casting・凝固プロセスを用いて製造されており、これらの材料の高機能化・高品質化達成のため凝固組織を高精度に制御することが求められている。一般に材料プロセスの数値解析にはフェーズフィールド法などの現象論的解析手法が用いられることが多いが、講演者らは当該分野に率先して分子動力学（MD）法を導入してきた。本講演では高温物性値導出方法や、過冷融液中の核生成から多結晶組織形成に至る 10 億原子以上の大規模 MD 計算などの最新の研究事例を紹介し、材料プロセス研究における分子動力学法の役割について議論したい。



東京大学 大学院工学系研究科  
マテリアル工学専攻


Associate Professor Yasushi SHIBUTA

**澁田 靖** 准教授

日時：平成 29 年 **10月10日**(火)  
14:30 ~ 16:00

場所：金属材料研究所 2 号館 1 階 ラウンジ  
※ お申込みは不要です。当日はお気軽にご参加ください。

主催 /  計算材料学センター  
| お問い合わせ TEL: 022-215-2411  
E-mail: ccms-adm@imr.tohoku.ac.jp

協賛 /  計算物質科学  
人材育成コンソーシアム



ポスト「京」萌芽的課題  
「基礎科学の挑戦」

